

## 11. 地域包括ケアシステムとそれを支える医療提供体制について

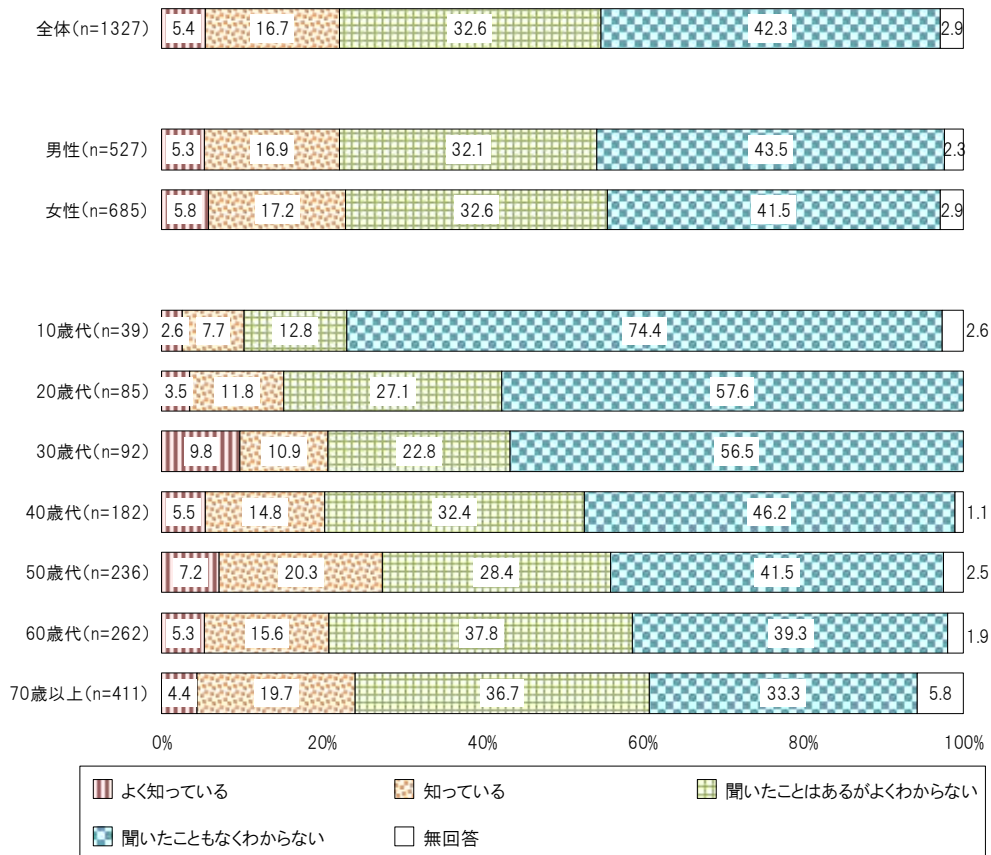
問 44 現在の医療制度においては、それぞれの病院が、高度急性期機能※1、急性期機能※2、回復期機能※3、慢性期機能※4といった機能を分担しています。これらの病院が地域で互いの役割を明確にし、地域全体で安心できる医療を提供しようとする動きが進められています。このことについて知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたこともなくわからない」が42.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよくわからない」が32.6%、「知っている」が16.7%となっている。

性別にみると、男女ともに「聞いたこともなくわからない」が最も高く、男性の方が女性より2.0ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、70歳代を除く年代で「聞いたこともなくわからない」が最も高く、10歳代では7割を超えている。一方、70歳代では「聞いたことはあるがよくわからない」の割合が最も高くなった。

問44 現在の医療制度において、それぞれの病院が機能分担していることについて



- ※1 高度急性期機能 …… 救命救急や集中治療を必要とする患者に、高度で濃密な医療を提供。
- ※2 急性期機能 …… 病状の早期安定化に向けて、検査や処置・手術などの医療を提供。
- ※3 回復期機能 …… 急性期を経過した患者に、在宅復帰に向けた医療またはリハビリテーションを提供。
- ※4 慢性期機能 …… 長期にわたり療養が必要な患者に、入院医療を提供。

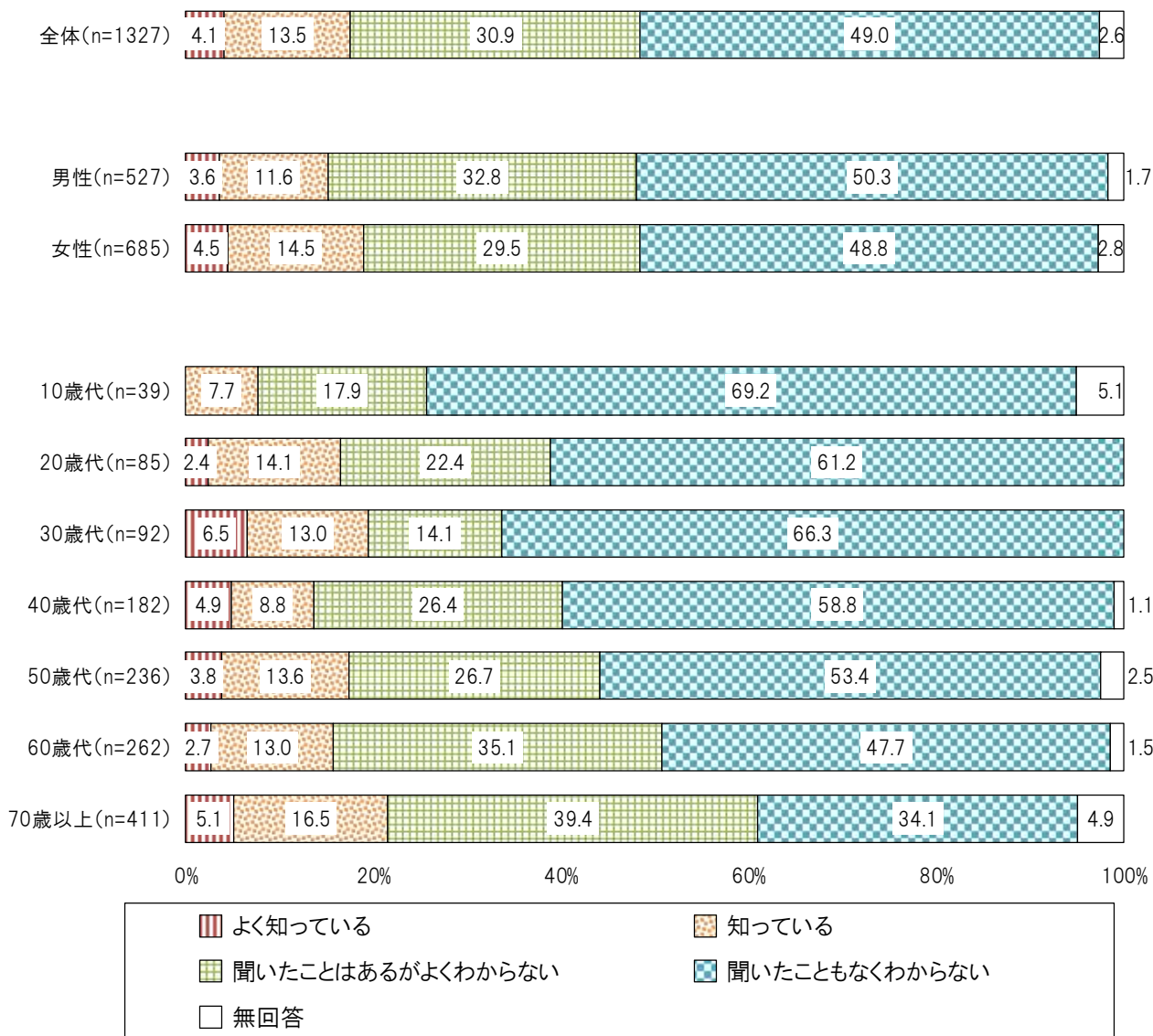
問 45 「三重県地域医療構想」では、松阪区域において 75 歳以上の人口がピークとなる 2030 年頃の超高齢社会に向けて、病床のうち回復期機能（地域包括ケア病床※5）の不足が見込まれています。このことについて知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたこともなくわからない」が 49.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよくわからない」が 30.9%、「知っている」が 13.5%となっている。

性別にみると、男女ともに「聞いたこともなくわからない」が最も高く、男性の方が女性より 1.5 ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、70 歳代を除く年代で「聞いたこともなくわからない」が最も高く、10 歳代では 69.2%となっている。一方、70 歳代では「聞いたことはあるがよくわからない」の割合が最も高くなった。

問45 2030 年頃の超高齢社会に向けて回復期機能の不足が見込まれることの認知度



※5 地域包括ケア病床 …… 急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある方、在宅・施設療養中から緊急入院した方に対して、在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行うこと等を目的とした病床。

問 46 75 歳以上の人口がピークとなる 2030 年頃の超高齢社会に備え、松阪区域に不足すると見込まれている回復期機能（地域包括ケア病床）を中心とする病院が必要だと思いますか。（○は1つだけ）

「強くそう思う」が 44.3%と最も高く、次いで「少しそう思う」が 36.2%、「わからない」が 11.2%となっている。

性別にみると、「強くそう思う」と「少しそう思う」を合計した割合は、男性で 77.6%、女性で 84.2%と女性の方が男性より 6.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「強くそう思う」と「少しそう思う」を合計した割合は、50 歳以上で高く 8 割を超えている。

問46 超高齢社会に備え回復期機能(地域包括ケア病床)を中心とする病院が必要か

